

## マドカホールにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、公益社団法人全国公立文化施設協会が、国の方針を踏まえ、劇場、音楽堂等の活動再開に向けて、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として実施すべき基本的事項を整理した、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を参考に作成したものです。

### ■ 感染防止のための基本的な考え方

施設管理者、公演主催者は、施設の特性や公演の規模や態様を十分に踏まえ、施設内及びその周辺地域において、マドカホールの管理・運営に従事する者、公演を鑑賞等するために施設に来場する者(以下「来場者」という。)、出演者及び公演の開催に携わるスタッフ(公演主催者を除く。以下「公演関係者」という。)への新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、必要となる負担を考慮に入れながらも最大限の対策を講じていただく必要があります。

特に、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件(いわゆる「三つの密」)のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、こうした環境の発生を極力防止するなど、

**すべての主体が相互に感染回避に徹底して取り組むことが重要です。**

### ■ 具体的な対策

#### 《公演前の対策》

- 公演の企画にあたって、密集を回避する方策や密な状況を発生させない工夫の導入を検討してください。  
例えば、開場・休憩時間を延長するなど、ゆとりあるスケジュールにする、座席の指定予約による人数調整 等
- 座席数の稼働率は、国や府からの要望等がある場合に備え、半分になることも想定し、企画してください。
- 来場者が多数になることが見込まれる公演(1,000人を超える大規模な催事)については、大阪府において示される対応に基づいて実施の可否

及び実施する際の感染予防措置について対応を検討してください。

- 特に高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。  
出演者や関係者が参加できない場合に備えた準備をしておいてください。  
例えば、プログラムの変更、演出の変更 等
- 出演者と観客が接触するような演出は、避けてください。

### 《主催者が行う感染防止策》

- 出演者、公演関係者は必ずマスク着用の上、必要な最小限度の人数としてください。
- 各自検温を行うこととし、体調不良や、発熱がある場合には自宅待機にするようにしてください。さらに、発熱の他に、下記の症状に該当する場合も、自宅待機を促してください。  
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- 手洗い、消毒を徹底してください。
- 表現上困難な場合を除き原則としてマスクの着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔（ソーシャルディスタンス）をとるようにしてください。
- 楽屋・バックヤード等でも、マスクの着用・ソーシャルディスタンスを徹底してください。
- 使い捨ての紙皿やコップを使用してください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の防止に努めてください。
- その他、稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講じてください。
- 出演者、公演関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。その際、関係者名簿が必要になりますので、作成しておいてください。

## 《公演当日の対策》

### (1)開場前

- 会場入口の行列は、最低で1m(できるだけ2mを目安に)の間隔を空けた整列を促し、人が密集しないように声かけをしてください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスク着用、検温の実施、来場に際し個人情報の提出が必要であること、体調不良の方がいるかどうか等を、並んでいる来場者に向けて声かけをしてください。

### (2)受付・来場者への対応

- マスク着用の来場者を入場させてください。
- 来場者に検温を実施し、万一来場者に備え、氏名と連絡先の情報を記入してもらってください。また、大阪府の「コロナ追跡システム」の利用を促してください。
- 消毒液の使用後に、客席に入ってもらってください。
- 体調のすぐれない方には、鑑賞の自粛をお願いしてください。
- パンフレット、チラシ、アンケート等は、極力、手渡しによる配布は避け、机の上に置いて、来場者にご案内してください。
- パネルなどを設置する場合は、手に触れないように注意喚起をしてください。

### (3)会場内での感染防止策

- 貼り紙をしている席には、着席しないでください。  
※客席1列目は常時使用禁止、2列目は声を出さない催事であれば使用可、3列目からは、声を出す催事でも使用可。
- 密集状況が発生しないように余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑の緩和に努めてください。
- ロビー、ホワイエで公演前後及び休憩中に、人が滞留しないよう、扉を開放することや、ソーシャルディスタンスを行うなど、声かけをしてください。
- 公演に関する物販は、最低1m(できる限り2mを目安に)の間隔をあけて整列していただくようにしてください。また、携わる方は、マスク着用と手指の消毒を徹底してください。
- 影アナウンス(裏面)では、必ず新型コロナウイルス感染拡大防止の注意を伝えてください。
- 終演後、来場者が密にならないよう、退出のタイミングを案内することを検討してください。
- 終演後、出演者の出待ちや、楽屋へ行くなどは控えてください。